以上
乙六月

右之通手形中受取置候
以上
乙六月

以上
乙六月

清酒中金銀之事

一金壱歩弐分壱朱
銀弐拾六匁壱分九厘三毛
内
銀弐拾三匁
但銀壱枚壱両ニ付
同廿二日出立同十七日ニ坂同廿日出立
銀三匁八分人銀壱枚ニ付
金壱歩弐分壱朱銀二匁壱分九厘三毛
以来酒代ニ而九ツ半ニ入弁ハ入合六ツ
但右同断一日壱人ニ付銀壱匁ツヽ積
ニ而数十日分ハ能キ程ニ銀高ニ積ル

奉差上小作証書之事

一、今般私共村方元羽村ニ而書籍不正之儀有之ニ付
是迄為御用石建之地割株数弐人宿代銀被相渡
候処今般組合入用ニ而書面之通被仰付
候ニ付

安政七庚申年六月

小作証書方改役勤方
栄山善兵衛

小作証書方下役勤方
秋葉金之丞

奉差上小作証書之事

一、今般一所ニ而書籍
小作利右衛門
不正之儀有之ニ付
加茂次兵衛

右之通相違無之候以上

河股對馬守
平賀源内

表書ニ金参百弐拾
両ト有之候ハ、書上文ニ有之候
ハ、
乙
月
福 八市右衛門
役 八之助
脇 源之助
隊 友 助
立 治右衛門
公事方掛
石 岡精
公事方掛
水 筑後
川 友蔵
公事方掛
本 加賀
松 河内
公事方掛

誠中ニ候
仲橋氏宛地内氏宛ニ御渡候間小座敷
周辺地所相渡ス後中上ル書付

山届

平賀後ニ写

先達テ申候仲橋ノ所ヲ仲橋ニ宛地内ニ宛ニ御渡候間小座敷
隣接ス周辺地所ヲ仲橋ニ宛地内ニ宛ニ御渡候間小座敷ニ
依シ此届中上ル以上

乙
六月

乙
六月十六日
地震被災
山右等
後ノ
忠内友ニ物ヲ上

誠中ニ候
末吉又右衛門 印
清水二郎右衛門 印
秋葉金ニ郎 印
清水茂助 印
栄山善兵衛 印
中務理右衛門 印
沢善永七 印

誠中ニ候
御廊ヲ石垣ヲ
山内氏ニ御渡ス後ノ

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

去辰年中

御廊上ニ而石垣崩
ニ而修復御渡シ分皆お
ニ而扶持廉多ク
有之ニ而職丈者署仕
御渡シニ而定高支配向
ニ而ハ
くりくきくシ構不ル
ニ而ハ

小下 河辺對馬守
同 平賀源内守

若年実ニ難若年箇所ニ
ニ而ハ去ル卯年 月御
箇所ニ而ハ自然ニ
ニ而ハ用ニ立ル
社ニ而ハ処退シ風雨地震ニ
押出抔ニ而ハ分ケ
外様向ニ而ハ大番所
一 石垣大工所
当時先ニ而ハ和田倉ニ而
一 石垣大工所

武ケ所

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

外桝田上枝深五分厚屋葺葭葺
鬼門外東ノ方ニ有之候

一石垣築所　　四ヶ所

半蔀ニ付ク両書所接近

一土石垣築所　　六ヶ所

内安座飛檐

一同　　四ヶ所

刑部ノ殿屋飛檐

一同　　壱ヶ所

常盤桝ニ付
松平飛騨守屋葺檐

一同　　壱ヶ所

吳服桝ニ付ク方ニ有之

一同　　壱ヶ所

石垣築ニ付ク同外桝同ニ付
和田倉門近ク半蔀ニ付ク大番所接ク馬場先ノ
石垣ニ接ク塀ニ揚所先達テ修復揚所續ニ有
ル文ニ廉多ク築ニ付前ニ掛ル修復ノ

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

先達而申渡候間海
陸荷物差積候儀方々
被仰渡候処未寺前
相渡候儀無之候間
請取申候帳面申上候
以上

乙
六月

紀伊国
大成殿
山代我楽間御産業向
山代我楽間地御産業
山届

先達而申渡候
大成殿学問所御産業向
山代我楽間地御産業
山届

平賀源内

仮中古殿
山業請方雇棟梁銀料請之儀中上ル書付
山御定之通ニ拾人
河野對馬
平賀後河内

一銀百三拾六匁
米壱石ニ付六匁
先年南己六月中雇棟梁九拾人分一日ニ
銀壱匁六分六厘米壱升六合宛

右之山業請方雇棟梁銀料銀米右御方ニ通請取申
度旨地別棟梁ヲ中受ル写右之六通銀米請取申度
事ニ付此段中上ル以上

己六月

山奉行所
山業請方下役

鈴木治左衛

山業請方下役

木曽又右衛
清角三郎兵衛

右之通下役ヲ中受ル写ニ御定所ニ而渡ス
以上

己六月

結束之段

所職同外二條後二有詩
揚揚地所請之義申上ル
以届

一此六日ニ仰渡ル

所職同外二條後ニ有詩
揚揚地所
以能幸方ニ相渡ス処ニ候
申ル以上

安六月八日

河野對馬守

仲間之段

玉川上ヲ水元羽村ニ若ス
ル人前代銀旅ニ扶持方代金請ス候後申上ル
書付

以勘定所ニ加ヘ

河野對馬守
家賀後河守

一金壹両二分
銀二拾六匁九分二厘六毛

内

銀二拾弐匁弐分六厘
但銀壹枚ニ付壹枚ニ付壹匁替ニ
壹ヶ月銀壹枚ニ付
金壹両二分銀二匁六分
請取壹石六斗六升六合ニ付

但右口別一日雇人夫六拾人
日数十七日分口但賃銀之指次右賃金之指入高一分船し積

右之通川上村水元羽村大堰通之内
営請高御用悪水地割棟梁之人当代銀旅扶持
代金口但金入用口元帳金書面之通請元取渡申候処
口但申上口口

巳
壬六月

口口口口
営請高下百姓
木曽又右衛門
清右衛門

右之通下百姓中受取当口勘定取口口
口口口口
営請高下百姓
清右衛門

巳
壬六月

清元中金銀ニ準ス

一 金壱両ニ付
銀ニ拾八匁九分ニ当ル
同
銀ニ拾弐匁弐分ニ当ル
但銀札ハ当分ノ内ニ限リ通用ノ儀ニ付
兵庫ニ於テ金ニ引換ノ節ハ銀ニ準ス

金壱両ニ付銀ニ匁ニ分八厘ニ当ル
此米壱石ニ付
但右同断一日ニ人米ニ升ニ付
日数十七日ニ而壱人前壱俵米ニ拾
弁ス

右ニ付銀札ハ当分ノ内ニ限リ通用ノ儀ニ付
兵庫ニ於テ金ニ引換ノ節ハ銀ニ準ス

右ニ付銀札ハ当分ノ内ニ限リ通用ノ儀ニ付
兵庫ニ於テ金ニ引換ノ節ハ銀ニ準ス

右之通被仰出候間此段為心得
御触流被成可然候以上

慶応三卯年閏四月十九日

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

星野一郎外
今井一郎外
小澤利吉外
前谷友市外
加藤源之助外

右之通相違無之候也

汀野對馬守
平賀源内

表書之通金子慥ニ相渡候ニ付
為取替證文如件

乙卯八月

福田八郎右衛門殿
役所
八之助殿
勝俣
次右衛門殿
保阪
友助
立岩
喜左衛門殿
石田清右衛門

水 筑後守
川 左衛門尉
本 加賀守
松 河内守

以上

依中書殿
以書請方雇棟梁作料請取
以勘定奉行ヨリ以次中ニ以書付
河野對馬守
平賀筑前守

一 銀百三拾目ヲ
米弐百三拾六俵
是ハ寅ノ三年六月中雇棟梁八拾七人分一日ニ人
銀弐匁ヲ俵ニ六分米ニ而六俵ノ割合定

右ハ以書請方雇棟梁作料銀米右之方ヘ通請取
申度旨ヲ以別棟梁ヲ申受以書付
奉行所ヘ以上

以上

己六月

右之通下書仕申候受山留方ニ而取調候上
以上
己六月

山留方下書仕候
出雲清方下書仕候

木書又右衛門
清兵衛

大和国
添池山手伐渡ニ添池
用水ニ我来揚場地所請候ニ付
一届

添池山手伐渡ニ添池
弁数等届出候ニ付
和渡金ニ処伐用相渡ニ付
請取申ニ仮一届申上候ニ付
己六月

河野對馬守

先達而伐渡ニ添池山手伐渡ニ添池
弁数等届出候ニ付
和渡金ニ処伐用相渡ニ付
請取申ニ仮一届申上候ニ付
己六月

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

本紙出来
本紙後ノ人至ル
依而之段

淺草橋ヨリ同言札場ヨリ候様出来ル旨
仰矢来地所清元ヨリ後ル二日
届

先達テ申上候淺草橋ヨリ同言札場ヨリ候様出来ル旨
仰矢来地所町奉行方ヨリ
右地所清元ヨリ後ル二日届申上候以上

己七月

平賀後河内

依而之段
大沢右京亮 松平筑後守 屋敷ヨリ渡ル引移
届

小川町元大清屋敷ヨリ
一、六百拾坪
右同所ニ同
一、千八百坪

右ハ去辰十二月中ニ作渡ル小川町元大清屋敷

平賀後河内

大沢右京亮
引移屋敷

松平筑後守

小普請方清元延壽太夫儀
書面之通去渡中ニ候ニ付
乙
六月

被申候
両九下候得ハ
御用ニ候ハヽ
書付

御届

一此度之一件ニ付両九下候得ハ
之外ニ修復ニ付同所表
ニ場所ニ候ハヽ
ニ付右地所請取申ニ候ニ付
六月廿六日

被申候
御城内外ニ修復ニ用ニ候ハヽ
場所地所ヲ請取申ニ候ニ付
書付

御届

河野對馬守

車賀後河守

先達而御渡
御願申上候
御地御用ニ付
相渡申候 右地面
乙七月

安藤吉慶
海老原武治
平賀源吉

下谷久保町江抵
紙屋安次郎殿
一 武百拾弐俵余

小野慶三郎紙元江抵
海老原武治
上地

右ハ先達而御渡
御座候ハ、
乙七月

仰中告候
神田上水元井ゟ玉川上水
高河原迄之地割株梁当代銀納
之儀ハ
勘定所ゟ申渡候ニ付
書付
和ト
河野対馬守
平賀筑後守

一金三百両
銀三拾三匁三分九厘三毛
内
銀札拾ヶ年賦
ハ日ゟ拾弐匁弐分ニ厘
但両ニ付七月九日ゟ三百
銀札ニ積

右ハ
神田上水元井ゟ玉川上水
高河原迄之地割株梁当代銀納

右之通下書ニ而中受ケ置候
以上

乙
七月

小堂清方下書ニ
末堂又右清
清水三郎右衛

清書中金銀之事

一 金之義ハ銀之称ニ候ヘ共金ニ先
銀実数ニ而受
払ハ銀ニ拘ハ銀ニ而ハ不受
候間乙二月九日出之通七月
来ル右之外ニ入合
代銀之義ハ来銀ニ而ハ不受
候右通ニ候ハヽ一日ニ多人来ル六ケ敷
日数二十二日ニ而ハ出来ニ候来ル拾
右之外通ニ水元ニ而ハ池之間ニ合
候義ニ付

円

銀ニ拘ハ銀ニ而ハ不受候ニ付金ニ而受候義ニ付銀ニ而ハ不受候ニ付金ニ而受候義ニ付銀ニ而ハ不受候ニ付金ニ而受候義ニ付

此割棟梁之人宿代限該当技方代金ハ組合ヘ用
ハ面相金書面ニ通請求申処仍如件

安政二乙年七月

星野一所ニ清度
今井一所ニ清度
小酒利右エ門一所ニ清度
和泉屋市所ニ清度

ハ芸請方改役物方
栄山吾蔵㊞
ハ芸請方下手代
清右エ門㊞

加茂次所ニ度
右ニ通相違無之候ハヽ
河野封焉
平賀後所ニ
表書ニ金二両ニ朱銀ニ
下ハ右渡ハ断ニ本文有ニ
乙
月
福八所ニ清
渡八ニ所

腊次帖

塚茂物

之芸香帖

公事方御定書所

石囲墻ち

水筑波ち

川左溝附

公事方御定書所

木加賀ち

松河内ち

公事方御定所

七月廿九日御届書ニ而入江同明ル

我中ち殿

湯治元馬場大施小統鑄之場ニ而

学問所御用地御普請ニ付相渡候書付

平賀源内

届

湯治元馬場大施小統
鑄之場ニ而御用地ニ付通或ハ

一弐百四拾ニ坪余

右ハ先達而ニ御渡申上候書面ニ通ニ相違

無御座候ニ付御届申上候以上

七月

学問所
御用地
御普請
御役人

八月八日小届差出同明所

仮中書

深川警察署

深川龍中務松平下総守
中屋敷深川北二丁目

一 千百三拾坪余

同所もし方町通

一 百坪余

右ハ先達而ハ仮渡ニ相成候ニ付
之通海防録ニ而ハ仮ニ届申上候ニ
乙
八月

右ハ竟度
雑子橋外野馬仕廻
馬場明地ハ
一 千弐百八拾坪余

小網町弐丁目
酒井中務少輔

東京府下
雑子橋外野馬仕廻
馬場明地ハ
小届
深川警察署

八月八日小届差出同明所

仮中書

深川警察署

深川龍中務松平下総守
中屋敷深川北二丁目

一 千百三拾坪余

同所もし方町通

一 百坪余

右ハ先達而ハ仮渡ニ相成候ニ付
之通海防録ニ而ハ仮ニ届申上候ニ
乙
八月

右ハ竟度
雑子橋外野馬仕廻
馬場明地ハ
小届
一 千弐百八拾坪余

小網町弐丁目
酒井中務少輔

東京府下
雑子橋外野馬仕廻
馬場明地ハ
小届
深川警察署

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

右之先達而仮渡し置候橋之儀
野馬仕廻馬惰明地ニ而豊凶ニ
かゝわらず届申上候
　　以上
　　八月

綾中当殿

玉川上水之元羽村川崎橋下ニ而桁ニ候儀
堀門程流為仕用候ニ付地割拝借銀被
仰付方代金請取候後申上候書付

　　河野對馬
　　栗賀後右衛門

一金六両
　銀六拾匁
　　内
銀六拾匁　七分六厘
但壱枚ニ付弐枚為ニ七ツ八月十七日
より月銀ニ而渡し候
金六両ニ而銀壱分ニ付八厘九毛
金六両ニ而銀壱分ニ付七合六勺
ニ而ハ六石壱斗六合ニ付七合六勺
但右同断一日壱人ニ而ハ六斗ニ付
日数六十二日分ニ而事仕候ニ付
右玉川上水之元羽村ニ而桁ニ候橋下ニ而桁ニ候後橋門

但渡方御用筋之儀ニ付地割
代官江御入用之儀書面之通請取申度
旨申上候以上

乙
七月

右之通下書を以申上候間其御
乙
七月

求善又右衛門
清水喜右衛門

請取申金銀之事

一 金六百三両
銀六拾八匁弐分三厘九毛

内

銀六拾三匁七分八厘
但三枚ニ而壱枚ニ付
三ヶ月銀壱枚ニ積

金六百三両銀五匁八厘九毛

六ツ半ニ石三斗二升六合入
但右同断一ヶ月三人ニ米六升
四枚八十二日分ニ相当

右之玉川上水多元羽村川添橋下ニ而水
際中附切為仕用之地割株数之人前代銀
後ニ枝持百代金ニ組合ニ用ニ立船金書面之通請取
申処仍如件

安政二乙卯年七月

星野一郎兵衛㊞

書添方下筆仕候
同役
清水兵助㊞

書添方下筆仕候
同出役
小倉重之丞㊞

乍井一郎左衛門
小澤利左衛門
石谷左市郎
加藤次三郎

右之通相違無之候ニ付
河野對馬守
平賀源内

表書之金ニ而方銀ニ而相渡申候
右之通ニ付

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

福八許右清つ
設八二許ノ
猪次許ノ
豚爰ニ
之岩ヲ許ノ
土指津ヲ
公事方立帳
石囲猪ヲ
水筑波ヲ
川左清つ厨

公事方立帳
平加賀守
立会吟味ノ元

猟師ヲ厩
竹本長門守ヲ清ヲ以テ所ノ役人ヲ渡ス後
平賀後ノつる
小性ノ元
竹本長つる

小川町雑子橋屋敷ヨリ浦賀
上ヶ地ニ六百七拾弐里ノ内
一人百弐拾

同所〻〻
一 百七指揮余
右之先達而御渡ニ小川町雑子稽屋松平
河内守上ヶ地家僕御掃除為之介請
行申候つき多満宮ニて御召屋敷ニ御渡申ニ仕候ニ届
申上候以上
　　己
　　八月
　　　　山動定
　　　評定所留役高谷
　　　多満宮ニ御

綾中当殿
　　本多八十郎ニ差加地嗣渡候後申上ニ仕候分
　　　　平賀源内
　　　　　山届
一 資ノ巻袋町
一 六指八挺余
右之先達而ニ書ニ仕
　　本多八十郎
　　　　ニ差加地
申上候以上
　　己
　　八月
　　　　鬼切安ニ書ニ仕

仮中書殿

上野宮下大深地之
地所相渡以後中之書付
以届

先達而仰渡之上野山里下大深地之仮年切返之旨
覚張高書屋共清貞人諸不庶康を吉地新寺建
立合上野方ゟ相渡中ハ仮之届中之書付

己八月

平賀後河守

天保十未年二月ゟ足合セ

大和守殿

柳原石垣場之内大通油
小動之方ゟ相渡以後中之書付
以届

柳原石垣場之内
一指上候

右之先達而仰渡之柳原石垣場之内大通油
北不清地大通油東側不指地不
仮之届中之以上

平賀後河守

己八月

藏中当屋
飯沼善兵エ地請取証人

下名之枚橋通小流
紙屋支大縄之内
一

右ハ先達而ハ仰渡ハ善兵エ地ハ従紙屋支大縄之内、

表川久蔵ハ紙元ハ従
飯沼善兵エ地

車賀後ハ当

ハ庭ハ分請取証証ハ右紙ハ善兵エ分中ハ飯ハ届中ハハ

己八月

己八月十八日

大和当殿

歩兵ハ添ハ
村馬当請取

大庄油売捌地不請取証
中ハハ書分

黄請人
川路左衛門
ハ我ハ石ハ分ハ
七渡捌当
ハ

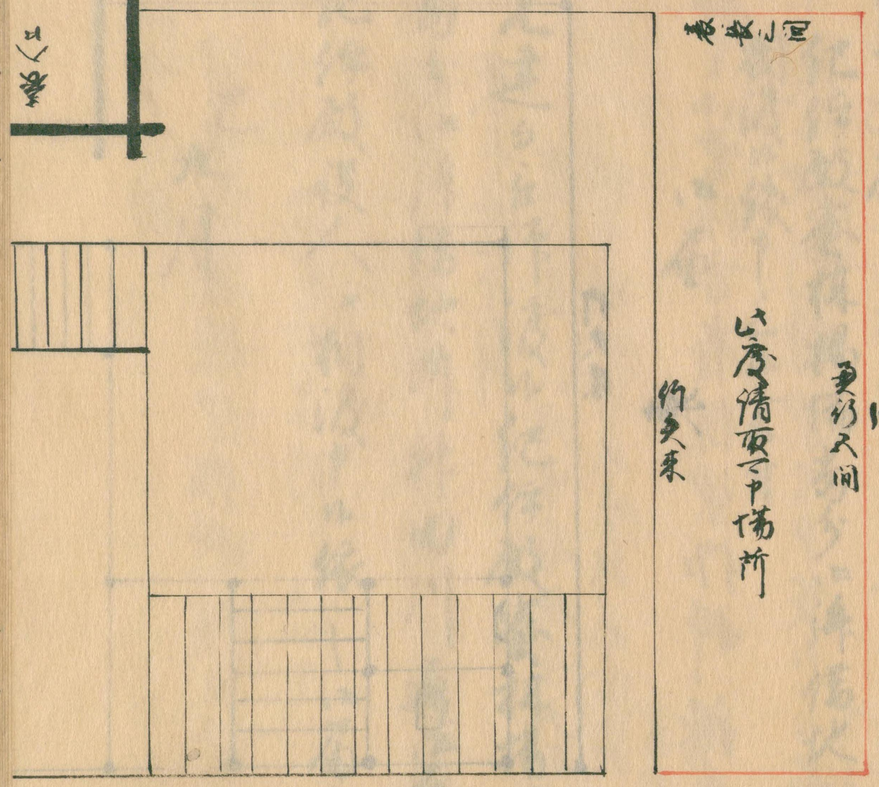
己八月十八日
来渡候間受取ハ

御不ハ石ハ勝ハ円武指掛税天保六未年中

中上之書請事務所ニ我木石事務所ニ上ル油賣捌所ニ請求ニ応シ製油賣捌高ニ応シ分地積明地ニ場所指入降組請求度候ニ我木石事務所ニ中達ニ応シ書式ニ郡名業者未年ニ報告ニ場所請求ニ応シ指定ニ其旨油賣捌所ニ我木石事務所ニ上ル

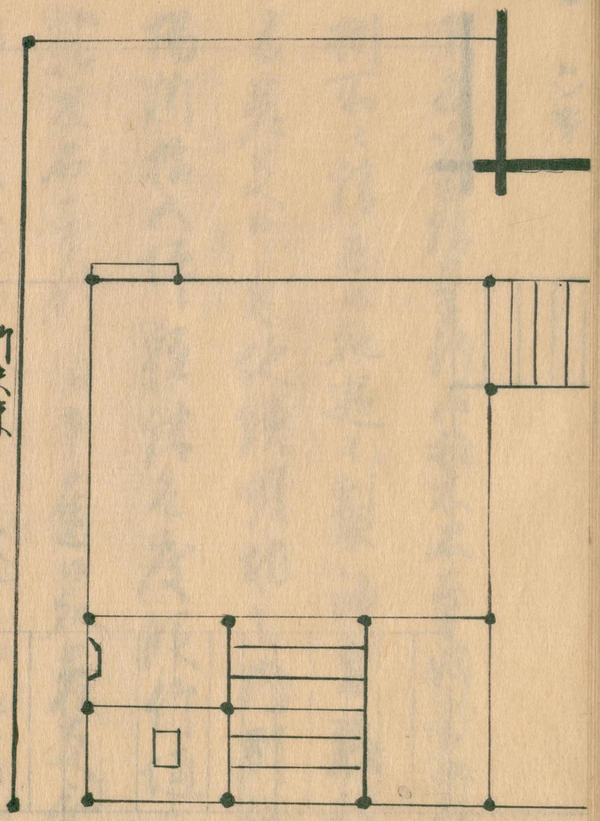
仕度事務所ニ以上

己八月



国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用




---

後来ヲ慮
紀伊殿参様掲場南ノ方ニ海岸
相渡ル後ヲ之ニ書付
ル置

先達テ紀伊渡ル紀伊殿家
南ノ方ニ海岸地所并田川通ル石垣場ニ
紀伊殿役人ニ相渡ヲ後ヲ之ニ
ル置ヲ次ニ

乙
九月

綿中古殿
営繕方雇棟梁伝料請取ノ儀申上書付

山勘定所ヨリ

一銀百三拾六匁
　　来ル廿三日ヨリ
　　晦日迄八日中雇棟梁九拾人分一日ニ
　　銀壱匁ツヽ弐拾人分ノ来ル弁ニ人合宍

右ハ営繕方雇棟梁伝料銀来ル廿三日ヨリ
晦日迄八日中雇棟梁伝料ニ
晦日ニ相渡
河野對馬
来賀渡河守

右之通ニ御座候以上

己
九月

山奉行
営繕方下奉行

佐木治左衛門

右之通下奉行ヨリ申受ル旨山勘定所ヨリ
以上
己
九月

山奉行
営繕方下奉行

木曽又右衛門
清水主殿頭

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

大和守殿
神田橋御門外御役儀ニ付矢来地形
相渡ル候申上ル書付

御届

先達テ相渡ル神田橋御門外矢来地形
御用済ニ付相渡申候ニ依テ此段申上ル

乙
九月

平賀源内

大和守殿
松平伝濃守屋敷相渡ル候申上ル書付

御届

鞠町奥坂
石谷周幡守上ヶ屋敷
一千百二拾八坪
内
建家長屋七棟
弐百八拾弐坪

新番
松平伝濃守
屋敷

河北利馬

石谷周幡守上ヶ屋敷相渡ル候ニ付鞠町奥坂
家作共七井大隅守頭支ル候ニ付書面之通

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

仮濃ヲ以相渡申ハ先給米両度共同豫書分ヨシ後ヨ
宛茶代銀ヲ後ヨ分ニ而請取申ハ仮定仕切渡ニ申ス
ヲ仲渡ハヨ分別紙差上ル不申ハ此節ニ而請申上ル事ニ無之補成
酒井若狭守柳沢民部少輔松平伝次ヨ渡ス下ノ分賀ヨ物
屋敷請ヲ渡ス時ハ下ヨ而ハ受ル届ニ申上ル以上

己
八月

九月十六日
紀伊守殿
備後守
境目不分明ヨ分入組相改引渡ス儀申上ル
書付
六通

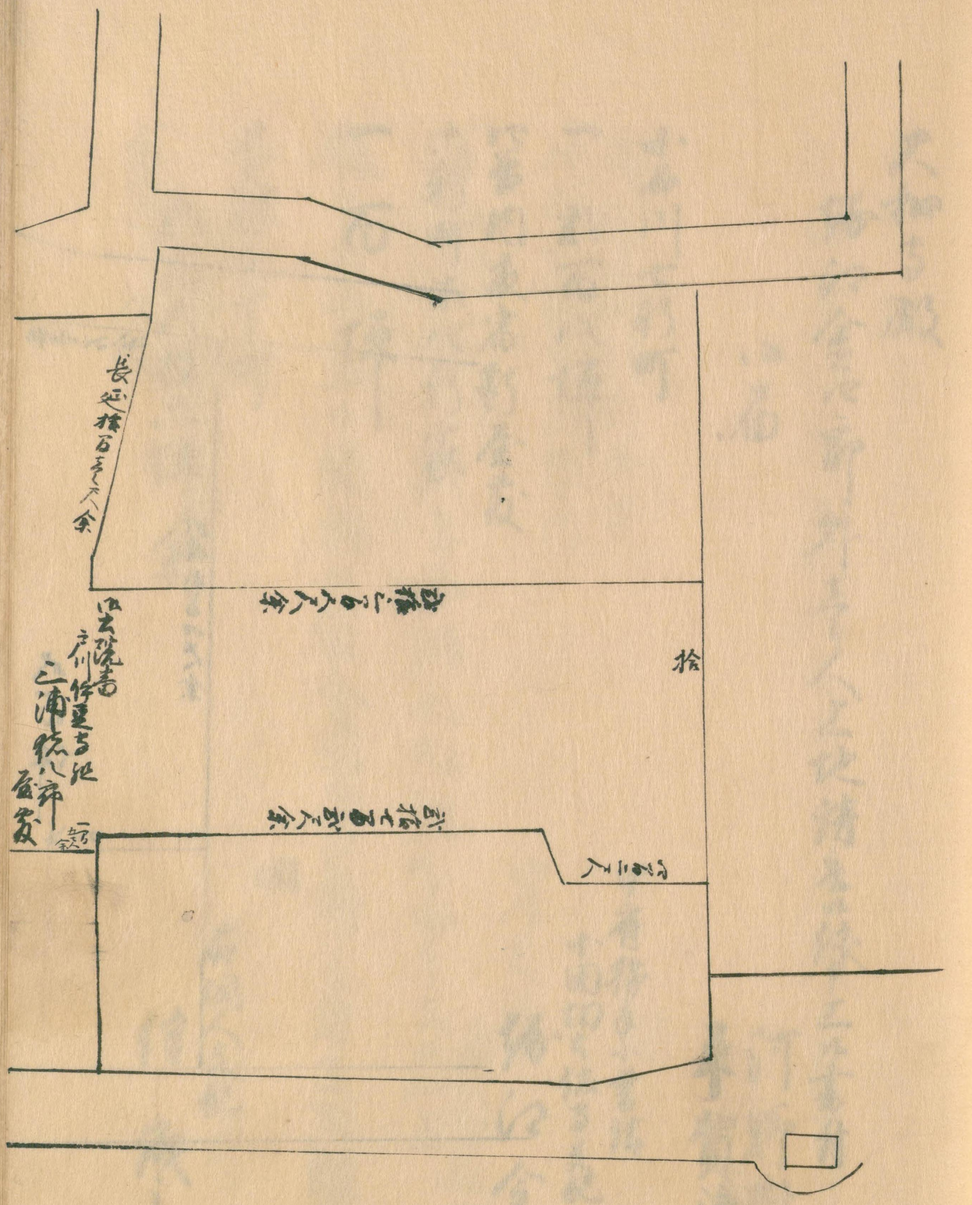
備後守渡ス場所
一六百八拾八俵余
一二百俵

書清組
戸川主馬支配
松下藤ヨ物

小性組
横田筑後守組
金澤源之丞

平賀後ハヨ

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用




一三百俵余

一人百俵

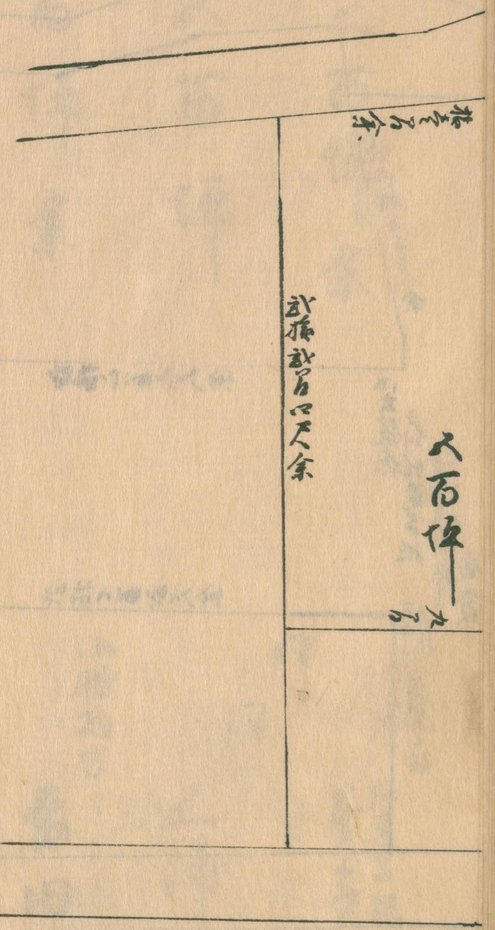
一百俵余

右之通申渡候条銘々屋敷江引渡方取
儀同ふ分明に場所銘々ゟ為受合外ゟ人屋敷ゟ
入組割証書両ゟ通り引渡申候ニ付依之届申上候
以上

己九月

小書院番
六ノ川伊豆守組
本多亜大守
印
印

小姓組方
吉田兎次守




大和吉殿
堀江金四郎外弐人之地請免之儀申上候書付
小前

河野對馬
平賀源内

甲斐狩之小雪請
小田切七伝之丞
堀江金四郎
上地

小石川七軒町
一 弐百八拾
宮内屋宿新屋敷
六軒町未八軒家
一 百 拾

大久保余丁町
弐百六拾六拾余

同
右同人支配
伴 錬之丞
上地

青山六軒町
武百四拾番

右之通相違無之候間此段御届申上候以上

乙
九月

大和町
須田友次郎
四番地

青山茶研坂新左衛門
掃除之儀ニ付願之通
一人拾六銭

右之通相違無之候間此段御届申上候以上

青山茶研坂新左衛門
組屋敷大縄之内
四番地

須田友次郎
土地

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

乙
九月

組馬方廣
當家清次郎殿上地請差出候申上書付
以届

當天龍寺領
一七拾八坪余

右之先達而渡邊清次郎殿上地請差出候申上書付
尚委敷儀申出候ニ別紙絵図面ニ添出候渡清次郎
殿上地ニ取極

小當領方支代
當家清次郎
上地
ニ而差支無之ニ付御馬方
以届

申上候以上
乙
九月

大和当殿
神田橋御門橋掛亜仏矢来地所
請差出候申上書付
以届

平賀後次郎

此度一日ニ作渡候神田橋御門橋掛亜仏矢来
地所ニ付奉行方ニ相渡ニ而差出候間御受取可
被下候以上

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

請之中ル依テ仍テ届中上ル

巳
九月廿二日

大和守殿

御城門外ニ修復ニ用ル為西丸下小屋場
地所請之ル候中上ル書付

仍届

廿二日同断

廿二日ニ作渡ル御城門外ニ修復ニ用ル為西丸下
小屋場ニ小屋掛ケ矢来地所ニ熊本方ヨリ相渡ス処ニ
仍テ

汀野對馬守

用相済ル為右地不請之中ル依テ仍届中上ル仍テ

九月廿二日

大和守殿

大嘗殿学問不浄産穢ニ
用小屋掛地所請之ル後中上ル書付

平賀後河守

届

一廿七日ニ作渡ル大嘗殿学問不浄産穢ニ
修復ニ用ル為小ニ方ニ囲地続ル小屋掛地所
ニ熊本方ニ相渡ス処ニ仍テ右地不請取

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

中ル依テ之ヲ届中上ル以上

九月廿六日

大和当殿

吹上山里

御石御奥定普請御用ニ付某場所

地形絵図ヲ以差中上ル書付

以上

平賀源内

一此廿六日ニ仰渡ル吹上山里

御石御奥定普請御用ニ付某場所

相渡ル者右地形絵図ヲ以差中上ル

以上

九月廿九日

大和当殿

普請方座棟梁 役料諸色

御定高ヲ以テ

一 銀百二拾人扶

米弐百石ニ弁

河野對馬守

平賀源内

長吉南乙九月中旬雇棟梁九拾人ヶ一日壱人
銀壱匁六分ヶ米壱升ヶ外ニ合宛

右壱ヶ所普請方雇棟梁仕料銀米右生方ヶ通請取
申度旨地割棟梁ヶ申受ル旨右ニ付用銀米請取
申度奉存ル仕候ニ付以上

乙
十月

（公義御勘定所下役）
（普請方下役）
（公義御勘定所）
（普請奉行）
（公義御勘定所）
（普請奉行）

小林治兵衛
本普又右衛門
清水三郎右衛門

右ヶ通申達候ニ付以上

乙
十月

（公義御勘定所）
（普請奉行）

小林治兵衛
本普又右衛門
清水三郎右衛門

覚書中ヶ渡

竹橋ヶ公義御門ヶ義ヶ付
公義御勘定所ヶ御届

先達ヶ仕候渡ル竹橋ヶ公義御門ヶ義ヶ付御届ヶ
公義御勘定所ヶ御届ヶ書付

平賀源内

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

播磨地不知子村小字神前ヨリ外小堤敷
附用相渡ル分右地不絡免中ニハ此渡中ニハ入

乙十月

大和屋殿

門永金二郎上地絡取ル後中ニハ書分

河野對馬

山届

森廣尾祥雲寺前通
門永金二郎上地

一百俥

左通相違
無之候

松平伊勢守

南茅部詰

右之通先達テ伺ノ通リ御下渡ニ付上地絡面ニ
松平伊勢守ヨリ南茅部陣屋ヘ御渡ニ相成候
中ニハ依テ絵図面共添テ届

乙十一月

伊賀殿

門永金二郎上地絡取ル後中ニハ書分

平賀源内

山届

小石川白山御殿跡
門米金三斉上地
一 弐百六拾六坪余

右之通今般御用地ニ
被成下候ニ付而ハ
定式之通御請書
差上申候以上

乙
十一月


国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用



15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57



縮中写


神田上水懸樋今川橋通川筋埋立地
町奉行所ニ而渡中ニ付書分

山尾庸

平賀源内写

神田上水懸樋今川橋通
川筋埋立地
一 弐百七百弐拾三坪余

右之通今般神田上水懸樋今川橋通
埋立地之儀向後町奉行所ニ而
御取扱被成候ニ付而ハ
定式之通御請書差上申候以上

乙
十一月

中ハ依テ此届中上ハ以上

乙
十一月

来資

結中ヲ殿

壱川上ヲ水元羽村ヨリ差出ス比割棟梁
壱人当代銀簿出投村方代金請取ノ儀ハ十二ヶ年ニ付
山勘定一和ヨリ山ヲ加ヘ

河野對馬守
平安後守

一金弐百壱分
銀ニ拾弐匁六ヲ二厘六毛
内
銀ニ拾弐匁六ヲ二厘
但銀ヲ投下ヨリ申投当己七月
壱ヶ月銀ヲ投ヲ積

金弐百壱分銀ニヲ八厘

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

代米壱石九斗 大井
但右同断一日ニ付八米六升ツヽ
旧政二十日分ハ代米ニ而拂ハ
右ハ西川上ゟ水元羽村出ゟ水前牛枠ゟ外
ゟ破ニ而請ハ御用ニ而ハ
旅ニ被指方代金ハ組合入用
お渡申度事ニ付ハ上
乙
十一月

ハ義ニ付拂
ハ書請方下ゟ
北条治左衛

右ハ一通下書ニ而申受
ニ付ハ上
乙
十一月

ハ書請方下ゟ
清水三郎右衛
同
同

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

請求申金銀之事

一 金弐百弐拾弐両弐分ト弐匁弐厘六毛

銀ニ拾弐匁弐分弐厘

銀ニ拾弐匁弐分弐厘

但銀書状下ケ申候節ニ
ニテ月銀書状ニ積

金弐百弐拾弐両弐分ト弐匁弐厘六毛

此銀弐百弐拾弐両ト弐匁弐厘六毛

ニ米弐百石九斗六升六合入別樽九升七合入ニ積
但右同断一日ニ弐人米六升六合入石ニ付金四拾匁分船ニ積
日数二十日ニ而船賃銀弐拾弐匁弐厘六毛

右之通川上ニ而水元羽村出ス申候ニ付別樽ニ積
急船ニ而請取帰国候間此段御届申上候以上

張出役方ニ而金四拾八両ト銀弐匁弐厘六毛
船賃ニ相違無之候

仍如件

安政弐乙卯年十一月

星野一郎左衛門殿

今井一郎左衛門殿

書請方役儀勤方
天満一平

出張ニ而船積
書請方下役
鈴木治右衛門

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

小鴨利吉殿
訴答右市商店
加藤次二商店
成瀬為二商店

右ノ通相違ナキヤウ御上

河野對馬吉殿
平賀幾治吉殿

右ノ通相違ナキヤウ御上

表書ノ通金弐百弐拾弐円弐拾弐銭ノ為替手形ヲ以テ御送付ニ預リ候ヤウ御上

乙十一月

福八商店
役八ノ商店
勝次商店
塚萩物
立岩吉商店
大杉津吉殿

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

公事方御定書
石問情ニ
水筋済ニ
川支済ニ
公事方御定書
年加賀ニ
公金済方

乙十一月廿九日 三九 差札
仲賀ニ殿 山岡朋次
昌平橋ヨリ代地迄相渡候後申上候書付
山届

先達テ申仰渡候昌平橋掛ケ直シ出来仕候ニ付相渡申候ニ依テ此段申上候
乙
十一月

年賀後済ニ

大和守殿
御年寄衆御向ヶ外ニ御儀御用小座惣
楊惣ヶ地不取扱候ニ付
小座

明十二日ニ御渡ニ
御年寄衆御向ヶ外ニ御儀御用小座惣
楊惣地取扱ヶ神田橋ニ外ニ場所
候ニ付申上ニ候ニ
十二月十七日

平賀源内

[抹消]
御中ヶ殿
御年寄衆地用ニ候ニ御儀御用小座
地所請ニ候申上ニ候ニ付
小座

平賀源内

廿十二日ニ御渡ニ御年寄衆地用小座惣
小座惣地所外ニ御儀御用
小座惣ヶ小書付方ヶ相渡ニ候
用ニ相渡ニ付右地不請ニ候申上ニ候ニ
十二月十七日

平賀源内

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1
ガラス使用

西九　御休息拭立外柾拝立修復

御用小屋揚立我孫揚場北ヨテ玉渡ル後

十二ル書分

小屋

平賀源内

十二日ニ玉渡ル西九　御休息拭立水柾拝潜

御用ノ分雑子揚ル内ヘ小屋揚同ル外ニ場揚ノ梁

揚場北ヨテ小普請方ヨリ調渡中ル候ニ付ル

十二月十七日

仰付ラル

小普請方ノ殿

小普請方雇棟梁作料請取後中ニル書分

一銀百三拾六匁

米三石二斗六升

内

銀ニテ南ノ十一月中雇棟梁九拾人分一日ニ付八人

銀ニテ南ノ十一月中雇棟梁九拾人分一日ニ付八人

米ニテ南ノ十一月中雇棟梁九拾人分一日ニ付八人

右ハ小普請方雇棟梁作料銀米右出方之通請取

申度旨ヲ以別棟梁ヲ以申越ル依ル而ハ

書状ヲ以ル申上ル以上

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

乙
十二月

右之通書記ヲ以テ申受候ニ付御渡ニ相成
候
乙
十二月

（以下省略）
（以下省略）
（以下省略）

組馬当番

御本丸大奥長局ゟ二丸大奥長局向ゟ
荷持出入積地不清節ハ後中上ハ書付
ハ不届

平賀源内

先達ゟ立帰渡ハ
御本丸大奥長局向ゟ二丸大奥長局向ゟ林重不
伸田橋ハ門ハ橋下屋通松前ゟ月二汀町ゟ丁月
汐汲ゟ小堂清方ゟ相渡ハ右屋敷ゟ相渡ハ
町奉行組ゟ者ゟ合右地不清節ハ後中ハ清届

書上帳

年　月

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『書上帳』 請求記号 805-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『書上帳』 請求記号 805-1

ガラス使用

805
1

国立国会図書館　タイトル『書上帳』 請求記号 805-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『書上帳』　請求記号 805-1

ガラス使用